

啓発強調月間です!

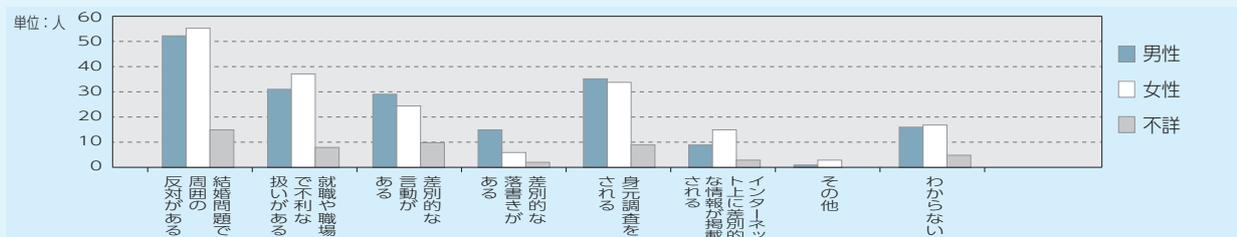
同和問題とは？

日本社会の歴史的過程において作られた身分階層構造。これによって始まった差別は、今もなお残っています。同和地区に生まれたということだけで、結婚や就職などの日常生活のさまざまな面でいわれなき差別を受け、悩み苦しんでいる人々がいるのです。

本来、私たち一人ひとりの誰もが日本国憲法で保障されている「基本的人権」が侵害されているという、もっとも深刻で重大な社会問題なのです。

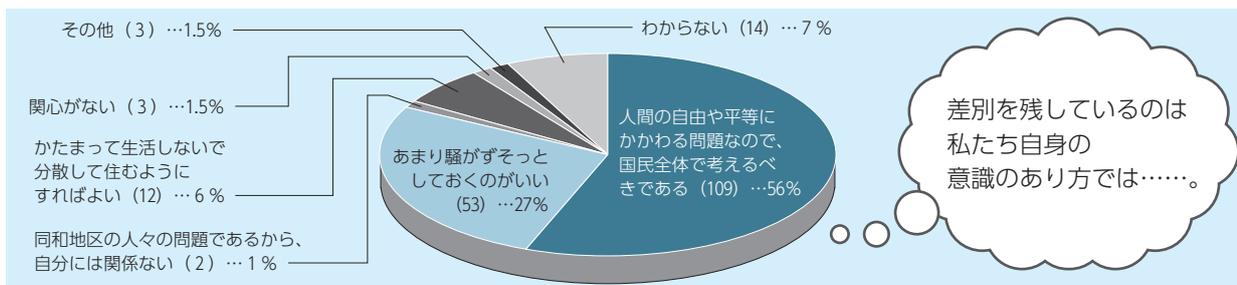
人権・同和問題に関する多久市民意識調査報告書より（平成25年度実施）

1. あなたは、同和問題に関して、どのような問題が起きていると思いますか？



身元調査や結婚・就職差別などに見られるように、差別意識はまだ解消されていません。最近では、同和地区・被差別部落の所在を示す書き込みがインターネット上に掲示されるということも起きています。

2. あなたは、同和問題の解決について、どうお考えですか？



いわゆる「寝た子を起さすな」という考えや、「自分には関係ない」という考えでは、いつまでたっても差別はなくなりません。

同和問題の解決に向けて

よく、「そっとしておけば、差別は自然になくなるのではないか」「私自身は差別をしていないから関係ない」という意見が聞かれますが、本当にそう言えるのでしょうか。差別について何も知らない人が、誤った情報を事実として受けとめてしまえば、そこからまた新たな差別が生まれます。

また、自分には関係ないという考え方が、差別を温存、助長することにもなりかねません。同和問題のみに限らず、さまざまな人権問題を解決するためには、自分が差別する人間にならないだけでなく、自分自身の問題としてとらえ、きちんと向き合うことが大切です。